

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 松尾谷津工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	04 設計図 古和高架橋 本線・附帯工 図面4/59	⑧、⑨の説明に、多々良交差点、とありますが、多良貝交差点ではないでしょうか。ご教示願います。	(古和高架橋)設計図 本線・附帯工4/59について、誤りがありました。上記については交付図書を訂正いたします。
2	設計成果品 古和高架橋下部工数量計算書 鉄筋A	P8の21.479t、P10の337.540t、P11の14.666tを合計すると、373.685tになります。設計数量374.62tと異なりますが、どちらが正でしょうか。異なる場合は、内訳とともに、ご教示願います。	本工事における鉄筋A(K)の設計数量については、設計図書に示すとおり374.62tです。
3	特記仕様書 P.54構造物掘削 特殊部	構造物掘削 特殊部Cにおいて最大地盤N値が50を超えているため硬質地盤専用打設機ではないでしょうか。また設計変更の対象となるでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書26-3-2(2)に示すとおりです。 なお、油圧式杭圧入引抜機による施工を想定していますが、現場条件等により打込みが困難と監督員が認めた場合は、別途協議事項とお考えください。
4	01設計図 松尾横芝インターチェンジ本線・附帯工	用・排水工・カルバート工で図面74/93の材料表における掘削土量は締固め後の体積でしょうか。ご教示願います。	地山状態での体積です。
5	04 設計図 古和高架橋 本線・附帯工 図面1/59	記号説明表の集水ます内の記号は、どのType(A~M)を示しているのかご教示ください。	土木工事共通仕様書5-4-2および特記仕様書25-5-2、26-5-2に示すとおりです。
6	特記仕様書 P.56 地下排水工	Du-P-φ0.05・0.20・0.20の施工数量をご教示願います。	(古和高架橋)設計図 下部工 148/161に示すとおりです。
7	金抜設計書No.64~66	基礎杭(既製杭)における掘削部(空堀、一般部、先端部)の加重平均N値をご教示願います。	基礎杭(既製杭)における掘削部(空堀、一般部、先端部)の加重平均N値については、(松尾横芝インターチェンジ)設計図 Aランプ橋(下部工)2/32、設計図 Bランプ橋(下部工)2/44に基づきお考えください。

質問書に対する回答
 首都圏中央連絡自動車道 松尾谷津工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
8	金抜設計書No.64～66	基礎杭(既製杭)における部材の中で、銅バンドは積算に含まれておりませんでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問については、お答えできません。
9	特記仕様書 P.33 25-3-3	構造物掘削(普通部、特殊部)において、盛土工に使用する掘削土の積込とありますが、普通部と特殊部の土量の配分をご教示ください。	特記仕様書25-3-3に示すとおり、構造物掘削(普通部、特殊部)の掘削土については、全て土砂仮置場へ仮置きとなります。
10	特記仕様書 P.33 25-3-3	構造物掘削(特殊部)において、鋼製台座の処分およびアンカー工の処分とありますが、処分方法はスクラップ処分または仮置場所への運搬となりますでしょうか。ご教示願います。	スクラップ処分とお考えください。
11	金抜設計書No.79 02設計図3/32Aランプ 02設計図3/44Bランプ	鉄筋工にて、鉄筋A(M)の数量が金抜設計書では114.66tですが、設計図数量総括表(A、Bランプ)を合計すると104.908tとなります。どちらの数値が正しいかをご教示願います。	本工事における鉄筋A(M)の設計数量については、(松尾横芝インターチェンジ)設計図Aランプ橋(下部工) 3/32、Bランプ橋(下部工) 3/44に示すとおり114.66tです。